

EDIX関西

大学の情報環境整備におけるDXのありかた  
～大学ICT推進協議会の部会での取組み～


大学ICT推進協議会（AXIES） 会長  
早稲田大学 理工学術院 教授

深澤良彰

2021年6月23日

# 大学ICT推進協議会（AXIES）とは？

(Academic eXchange for Information Environment and Strategy)



Since  
2011

- ビジョン
  - ICTを利用した高等教育・学術研究機関の教育・研究・経営の飛躍的強化
- ミッション
  - ICT 利活用による
    - 効果的・多様な教育の実現
    - 研究推進環境の構築
    - 機関経営の改善
- ストラテジ
  - 共通技術基盤・組織基盤の構築・維持
  - 方法論と支援するツール群の開発・共有
  - 教員・職員・学生のICT利活用力強化
  - 幹部・サポートスタッフの養成とキャリア形成

正会員：138機関  
賛助会員：78社  
(2021年4月1日時点)

# 主な事業活動

会員機関のボランティアメンバーが主導

参加者、  
毎年  
1400人超

現在、  
14部会

## 年次大会

各大学における取り組みの発表・議論や最新技術展示を行う大規模な研究集会の開催

## 会員間情報共有

最新動向・共通課題・ベストプラクティス・国際動向等の情報共有（会誌・ウェブ・Twitter等を利用）

## スタッフディベ ロップメント

ウェブセミナー・研修会・講演会・分野別研究集会等への参画を通じた情報系職員研修

## 国際連携・協調

米国EDUCAUSE、カナダCUCCIO、英国JISC、豪州CAUDIT、オランダSURFとの連携・共同事業

## 大学ICT推進協議会 AXIES

## 国内連携・アドボカシー

各大学・センター等が別途加盟する各種団体との連携や政策提言

## 部会活動

個別の課題を検討・実施するために部会を設置、必要に応じて新たな部会の設置や部会の改編

## 研究・調査

会員相互間の研究開発・実証実験・共同調査の実施と支援

## 標準化・共通化

情報技術に関する標準化・共通化、オープンソースソフトウェア利活用、ソフトウェアライセンス団体交渉

## ITベンチマーキング

情報技術利活用推進に関する経年変化調査

# 大学ICT推進協議会の最近のアクティビティ

- 今後の大学における情報環境の整備のあり方に関する提言  
(2020.12.10)
    - 提言:多様な教育研究活動の高度化を支える大学ICT基盤の集約化・共通化・協働化～コロナ時代における大学のデジタルトランスフォーメーションに向けて～
    - 「大学DX」を対象:「教育DX」、「研究DX」、「大学事務DX」すべてを含む
    - 大学デジタルトランスフォーメーション・タスクフォース
      - 主査: 梶田将司 (京都大学)
  - 「教育・学習データ利活用ポリシー」のひな型  
(2020.10.12)
    - 大学等におけるCIOや情報基盤センターなどのニーズを想定し、教育・学習データの利活用の推進を図る
    - 日本学術会議の提言「教育のデジタル化を踏まえた学習データの利活用に関する提言～エビデンスに基づく教育に向けて～」(2020.9.30公表)
    - 学術・教育コンテンツ共有流通部会
      - 主査: 山田恒夫 (放送大学)
  - とともに、<https://axies.jp/>からダウンロード可能
- 2030年の大学情報環境
  - 大学への提言
  - 政策立案者への提言

# 本日の内容

- 13:30～13:35（5分）AXIESの紹介等：深澤
- 13:35～13:50（15分）答申の中でも研究DXに絞ったの紹介：梶田 将司先生（京大）
- 13:50～14:00（10分）ソフトウェアライセンス部会：丹羽 量久先生（長崎大）
- 14:00～14:10（10分）研究データマネジメント部会：青木 学聡先生（名古屋大）
- 14:10～14:20（10分）ORCID部会：森 雅生先生（東工大）
- 14:20～14:30（10分）クラウド部会：吉田 浩先生（国立情報学研究所）
- 14:30～15:00（30分）フロアの方を含めて議論



Thank you...

なお、本資料は、深澤自身の独断と偏見に基づいている部分が多く、決して早稲田大学の統一的理解ではありません。

ご質問・ご意見等は  
fukazawa@waseda.jp まで